

博物館スクール

令和3年度 実施要項・プログラム



大船渡小学校 社会 (博物館内)



末崎小学校 理科 (博物館内、基石海岸)



赤崎小学校 理科 (博物館内)



日頃市小学校 理科 (博物館内)



吉浜小学校 理科 (博物館内、基石海岸)

令和2年度

大船渡小学校	6/19	社会	A, B, C コース
末崎小学校	9/8	理科	D, E コース
赤崎小学校	9/16	理科	E コース
日頃市小学校	9/30	理科	E コース
吉浜小学校	11/18	理科	D, E コース

大船渡市立博物館

博物館スクール実施までの流れ

◎ 学校（担当教員）が行うこと

内 容	時 期
① 実施日時、実施コースを決定 助言者やバスの都合により希望日に実施できないこともあります。 複数の候補日を設定していただき、なるべく早くお申込みください。	実施日のおよそ 1ヶ月前まで
② 博物館へ電話連絡し、実施日時を調整 学習場所（博物館または学校周辺の野外適地）への移動は、博物館が市のバス（公用車）を手配します。バスの空きや担当助言者のスケジュール調整を行い、実施日を決めます。	
③ 「博物館スクール申請書（添付様式1）」を記入し、提出 実施日程の調整後、添付された申請書を記入し、博物館へ提出してください。FAX 送信での提出も可能です。	
④ 事前打合せ 博物館の担当者が学校を訪問し、30分程度の打合せを行います。 日程詳細の確認の他、学習計画についてご要望等（現地を見たい、資料に触りたい等）をお伺いし、可能な限り当日の学習内容に反映させます。	実施日の1週間 前まで

◎ 博物館が行うこと

- ・バスの手配
- ・学習計画書の作成（添付様式2）
- ・実施記録の作成（添付様式3）

◎ 留意事項

- ・バスや助言者の都合により、ご希望の実施日に行えない場合があります。

博物館スクール実施要項

1. 趣旨

小学校の社会、理科及び「総合的な学習の時間」のカリキュラムの中で、学習教材や学習素材として博物館資料を利用し、体験的な学習を通して教育効果を高め、かつ郷土の自然や文化に対する理解を深める。あわせて児童に、博物館の活動内容や利用についても理解してもらう。

2. 対象・時期

市内小学校6年生を対象とし、原則として学級単位で随時実施。

3. 学習場所

大船渡市立博物館、または学校周辺の野外適地。

(学習場所が学校より遠距離の場合は、大船渡市公用車の中型バス等を利用する)

4. 学習内容

「博物館スクールプログラム」の各コースから学校が選択する。なお、このプログラムは1つの指針として提示しているもの。

5. 申し込み

「博物館スクール申請書(様式1)」に学校が必要事項を記入し、博物館へ提出する。

(申請書の提出前に博物館へ電話で連絡し、実施日時を調整する。 TEL29-2161)

6. 学習計画

申請コースの学習計画については学校と協議・調整し、「博物館スクール学習計画書(様式2)」を博物館が作成して学校へ提示する。

7. 学習進行

学習の進行は、学校が主導し博物館が助言して行う。助言者は以下の通り。

大船渡市立博物館学芸員(令和2年度の体制のため、変更の可能性がある)

工藤 やよい(考古学、歴史学、民俗学)

古澤 明輝(地質学、生物学)

村田 匠(考古学、歴史学、民俗学)

鈴木 めぐみ(考古学、歴史学、民俗学)

菊池 玄輝(考古学、歴史学、民俗学)

大船渡市立博物館専門研究員(令和2年度の体制のため、変更の可能性がある)

金野 良一(考古学/元大船渡市立博物館長)

大島 晃一(歴史学/元一関市博物館副館長)

佐藤 悦郎(地質学/元大船渡市立博物館長)

朝日田 卓(水産学/北里大学海洋生命科学部教授)

鈴木 まほろ(植物学/岩手県立博物館専門学芸員)

8. 実施記録

実施結果については、「博物館スクール実施記録(様式3)」に博物館が記録する。

9. 備考

- ・本事業の実施は、原則として火曜日～金曜日とする(月曜日は博物館休館日)。
- ・本事業に係る費用は博物館が負担し、不測の事故等には博物館総合保険等を適用する。
- ・本事業の連絡調整、大船渡市公用車の手配・手続き、学習教材の諸準備等は、博物館が行う。

博物館スクールプログラムについて

1. プログラムについて

このプログラムでは、小学校 6 年生で使用する社会・理科の教科書を基に、博物館資料を学習教材として活用し、また、「総合的な学習の時間」で博物館資料を学習素材として活用する際の、学習テーマや指導内容の要点等を示しました。

プログラムの構成は、本年度の教科書の項目等に、博物館スクールのコース・教材・学習場所・指導内容の要点を対応させています。教科や授業にあわせて、関連するコースを選択してください。

なお、いくつかのコースを複合させ、1 コース単位として実施することもできます。その場合は、申請書のコース欄に複合させるコース名を併記してください。

2. 内容について

このプログラムは、1 つの指針として提示するものです。実施にあたっては、学習内容等の詳細について学校と協議・調整の上、博物館スクール学習計画書を作成します。

3. 申し込みについて

申し込みはコース単位で受け付け、その学習時間は 1 時限を基本とし、学習内容によっては時間を延長します。学級毎に実施するほか、複数学級を同時に実施することもできます。

学習時間には学習場所への移動時間を含みませんので、学校において移動時間を勘案してください。

4. 学習方法について

学習の進行は、学校（教員）が主導し、博物館（学芸員等）が助言して行うものとします。

助言にあたっては、郷土の自然や文化に関する博物館資料（主に実物資料）に直接に触れ、観察するなどの体験的な学習に努めます。さらに、その体験に基づいて探究心・想像力を喚起させ、学習内容の理解促進を図ります。

テキストは、特に準備しません。必要に応じて博物館が作成します。

博物館スクール プログラム

小学校 6 年 社会コース

教科書			博物館スクール						
章	節	項	コースと学習テーマ		教材(博物館資料)	学習場所	学習指導内容の要点	助言者	
教育出版	2	1 国 日本の歴史	大昔の暮らしをさぐるう (p.74-79)	A	遺跡を探る ー自然に育まれた縄文人の暮らし	学校付近にある遺跡、貝塚、洞窟など (主に縄文時代)	学校付近の遺跡	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡に散らばる土器、石器などの遺物を観察し、縄文時代の痕跡に触れる 遺跡のある地形や自然環境の観察 縄文人の暮らしを想像する 住居の場所、料理の場所、水くみの場所、狩りの場所、隣の村との交流、食料採集の方法、その後の人々の暮らしの変化など そこに、遺跡が立地する利点について なぜ、大船渡に遺跡が多いのか 	学芸員 〃工藤やよい 村田匠 鈴木めぐみ 菊池玄輝 専門研究員 〃金野良一
				B	縄文時代の貝塚から分かること	貝塚からの出土品 貝殻、魚骨など ツリバリやモリなどの復元資料	博物館	<ul style="list-style-type: none"> 貝塚からの出土品に触り、質感を確かめる 貝塚の貝層断面について 蛸ノ浦貝塚の貝層断面 縄文人の食料 貝殻、獣骨、魚骨などから、食生活を想像する 釣針やモリなど骨角器の使用方法や製作方法について 	学芸員 〃工藤やよい 村田匠 鈴木めぐみ 菊池玄輝 専門研究員 〃金野良一
				C	縄文人の使った様々な道具 ーその用途	遺跡からの出土品 縄文土器、石器、骨角器など	博物館	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代の道具に触り、質感を確かめる 様々な道具の用途を考える 狩りの道具、魚とりの道具、料理の道具、工作する道具、装飾品、祈りの道具など 縄文土器の製作方法について 	学芸員 〃工藤やよい 村田匠 鈴木めぐみ 菊池玄輝 専門研究員 〃金野良一

小学校 6 年 理科コース

教科書			博物館スクール					
章	節	項	コースと学習テーマ	教材(博物館資料)	学習場所	学習指導内容の要点	助言者	
東京書籍	6	大地のつくりと変化 1 大地のつくり	D	基石海岸のしま模様を観察しよう	砂岩と泥岩の地層	基石海岸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基石海岸を歩いて、岩場などの地形を観察する ・ 砂岩と泥岩を観察して、そのできかたを考える ・ 傾斜した地層及び地層面を観察し、しま模様に見えるわけを考える 	学芸員 /古澤明輝 専門研究員 /佐藤悦郎
			E	地層をつくる岩石と地層からみつかると化石	地層レプリカ 岩石資料 (礫岩・砂岩・泥岩などの堆積岩) 化石資料 (サンゴ・三葉虫など海棲生物化石、シダ植物・裸子植物など陸棲生物化石)	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地層のレプリカを観察し、砂や泥が海底にたまって地層となる過程を知る ・ 市内から見つかる堆積岩を観察し、触れて重さや質感を確かめる ・ 市内から見つかる化石を観察し、触れてその形や質感を確かめる ・ 生き物が地層に埋もれ、化石となる過程を知る 	学芸員 /古澤明輝 専門研究員 /佐藤悦郎
			F	地震と津波火山	津波被害写真 浸水域図 地震計など	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波襲来とその被害状況の写真を見る ・ 津波が起きる原因について(主に地震の関係) ・ 市内の浸水域図から被害の傾向を探る ・ 地震を観測する地震計を知る ・ 津波に備える方法について考える ・ 私たちのくらしと災害 	学芸員 /古澤明輝 専門研究員 /佐藤悦郎
新しい理科	6	2 地層のでき方						
		3 地層ができるしくみ						
東京書籍	7	大地のつくりと変化 2 変わり続ける大地	F	地震と津波火山	津波被害写真 浸水域図 地震計など	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波襲来とその被害状況の写真を見る ・ 津波が起きる原因について(主に地震の関係) ・ 市内の浸水域図から被害の傾向を探る ・ 地震を観測する地震計を知る ・ 津波に備える方法について考える ・ 私たちのくらしと災害 	学芸員 /古澤明輝 専門研究員 /佐藤悦郎

小学校 6 年 総合的な学習の時間コース

課 程	博 物 館 ス ク ール				
	コースと学習テーマ	素材(博物館資料)	学習場所	学習指導内容の要点	助言者
課題把握の場面 または 課題追求の場面	G 博物館で調べてみよう または 野外で調べてみよう	考古資料 遺跡(貝塚) 自然遺物(獣骨等) 土器 石器 骨角器	展示室 収蔵庫 学芸員室 または 野外適地	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡や土器、石器、骨角器等の資料について、観察する 縄文時代の気仙地方に関して、出土した資料をもとに、縄文人の生活等について学習する助言をする 特に、国内での位置付け等、郷土の考古学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する 	学芸員 ／工藤やよい 村田匠 鈴木めぐみ 菊池玄輝 専門研究員 ／金野良一
		歴史資料 遺跡(城館跡) 古碑 古文書 古地図 写真 (津波被害写真等)	展示室 収蔵庫 学芸員室 または 野外適地	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡や古文書、古碑等の資料について、熟覧する 古代～現代の気仙地方に関して、現存する資料をもとに、当時の歴史等について学習する助言をする 特に、国内での位置付け等、郷土の歴史学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する 	学芸員 ／工藤やよい 村田匠 鈴木めぐみ 菊池玄輝 専門研究員 ／大島晃一
		民俗資料 衣食住 年中行事 民俗芸能 口頭伝承 (昔話、伝説等)	展示室 収蔵庫 学芸員室	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住、年中行事、民俗芸能等に関する資料について、熟覧する 近世～現代の気仙地方に関して、現存する資料をもとに、当時の民俗等について学習する助言をする 特に、国内での位置付け等、郷土の民俗学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する 	学芸員 ／工藤やよい 村田匠 鈴木めぐみ 菊池玄輝
		地質資料 動物化石 植物化石 堆積岩 火成岩 変成岩 鉱物	展示室 収蔵庫 学芸員室 または 野外適地	<ul style="list-style-type: none"> 化石、岩石、鉱物等の資料について観察し、種類を同定する 気仙地方の中・古生層に関して、観察した資料をもとに、当時の古生態や古環境について学習する助言をする 特に、国内での位置付け等、郷土の地質学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する 	学芸員 ／古澤明輝 専門研究員 ／佐藤悦郎

(様式1)

令和 年 月 日

大船渡市立博物館長 様

(申請者) 大船渡市立 小学校

校長 印

電話番号 ()

博物館スクール申請書

教科	社会・理科 ・総合的な学習	コース	
希望日時（児童の移動時間は含まない）	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分		
クラス / 人数	年 組 / 名		
担当教員の氏名			
バスの運行	要 ・ 不要		
その他・要望事項等			

(様式 2)

博 第 号
令 和 年 月 日

大船渡市立
校 長

小学校
様

大船渡市立博物館長

印

博 物 館 ス ク ー ル 学 習 計 画 書

令和 年 月 日付で貴校から申請のあった博物館スクールについて、下記により実施します。

	教 科		コ ー ス	
学 習 テ ー マ				
日 時 (移動時間を含めたスケジュール)	令和 年 月 日 ()			
	児童の移動(徒歩・バス) (移動時間 分)	学 校 発		午前・午後 時 分
	博物館スクールの実施 (時間 分)	学 習 場 所 着		午前・午後 時 分
	児童の移動(徒歩・バス) (移動時間 分)	開 始		午前・午後 時 分
		終 了		午前・午後 時 分
	児童の移動(徒歩・バス) (移動時間 分)	学 習 場 所 発		午前・午後 時 分
		学 校 着		午前・午後 時 分
学 習 場 所				
ク ラ ス / 人 数	年 組 / 名			
担 当 教 員 の 氏 名				
助 言 者 の 氏 名				

